令和４年度 遠野市立遠野西中学校　働き方改革アクションプラン

遠野市立遠野西中学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

現状	目指す姿
◆ 時間外在校等時間が８０時間を超える職員が数名いる。 ◆ 職員会議等会議に費やす時間が多い ◆ 学習指導要領の改訂に伴い仕事量が増えている。	◆ 教職員が自分の働き方を意識し、仕事の質の向上を図る。 ◆ 管理職が職員の勤務時間の状況を把握し、必要な対策を講じる。 ◆ 会議の効率化により、放課後の時間を確保する。

働き方改革の重点取組

取組①　残業時間の削減

◆ 職員が勤務時間の状況を把握し、働き方の質の向上に努める。改革へ意識付けを行う
◆ 時間外勤務が多い教職員に対し、衛生推進者による面談を行う。
◆ ノー残業デイを実施する。放課後の時間を確保するため、部活動を行わない日の下校時間を早める。

取組②　業務の見直しと業務時間の確保

◆ 会議の効率化（職員会議を２カ月に１回とし、生徒情報交換会の実施）
◆ 期末事務日を年３回行い、放課後の時間を確保する。
◆ 担任の負担を軽減するためのローテーション道徳の実施。
◆ 行事の精選（予餞会の見直し）

取組③　ICT 活用による業務の効率化

◆ 生徒総会等生徒会活動におけるタブレットの活用。資料のペーパーレス化。
◆ 会議でのタブレットの活用
◆ ICT 活用の推進（デジタル週録、校務支援ソフトの活用、各種名簿）

具体的成果目標	関係する重点取組
目標①　時間外在校等時間８０時間以上の職員を０人とする。	①、②、③
目標②　教職員全員が月に３回以上、定時で退勤する。	①、②
目標③　会議の実施時間を通常６０分、最大９０分以内にする	①、②、③